



第116号

# 小学校35人学級の2年生への拡充、 介護保険料減免制度の創設など 平成16年度 予算総額1643億円を可決

3月  
定例会

平成16年第1回定例会は、2月27日から3月22日までの25日間の会期で開会しました。この定例会では、市長から提案された平成16年度一般会計予算をはじめとする39件すべての議案を原案どおり、可決、同意しました。9日、10日には、市長の施政方針に対し、8会派の各代表者による総括質問を行い、活発な論議を展開しました。11日から18日まで開いた予算特別委員会では、当初予算案に対し慎重な審査を行いました。

## 予算特別委員会 26議案を審査

予算特別委員会では、平成16年度一般会計予算をはじめ、特別会計予算、企業会計予算、条例の改正や基金の一部処分など26議案の審査を行い、満場一致で原案を可決し、22日の本会議で委員長報告を行いました。

### 委員長報告（要旨）

本市においては、市税収入が約9億5千万円減少し、一部国庫補助負担金が削減されるなど、市財政は、引き続き危機的な状況に陥っている。このような中、提案された平成16年度の予算並びに関連する諸施策に対し、連日、慎重に審査を行った。

その結果、国民健康保険料の引き上げなど、市民生活にとって、きびしい内容もあるが、他市に先駆けて小学校1年生で実施した少人数学級の2年生への拡充やJR阪和線東岸和田駅付近高架化事業など、市民福祉の向上や将来のまちづくりに向けた真剣な取り組みが認められるため、満場一致をもって原案を可決した。なお、議案審査過程で主として次のような意見・要望があった。

## 予算特別委員

- ◎中 塚 茂 春
- ◎西 植 和 永
- 池 本 清 浩
- 森 田 啓 隆
- 稲 野 悦 治
- 中 井 久 喜
- 石 田 良 介
- 山 田 幸 夫
- 平 松 忠 雄
- 井 上 孝 三
- 西 川 勝 美

◎委員長  
◎副委員長

## 意見・要望（抜粋）

- ▽災害に強いまちづくりを推し進めるため、避難場所となる小・中学校の耐震補強の速やかな実施を。
- ▽職員一人ひとりが意識を改革するとともに、持てる力を十二分に発揮し、本市発展に努力を。
- ▽児童虐待については、関係機関がその重大な役割と責任を果たすとともに、より綿密に連携し今後十分な対策を。
- ▽市税や国民健康保険料などの未収金の回収、滞納処分の実施は適切且つ厳正に。
- ▽学校給食については、現行の自校直営方式の堅持を。
- ▽子育て支援の拠点として公的責任を果たせるよう公立保育所の充実を。
- ▽幼保二元化を視野に入れ、地域に根ざした公立保育所の民営化計画の策定を。
- ▽中学校の学校給食も視野に入れ、小学校の学校給食の民間委託を。
- ▽阪南2区の有効活用を図り、本市から新しい産業の発信を。

## 不登校対策

その取り組みは

【問】不登校問題は、どの子どもにも起こり得ることであり、その要因は多様である。今後の不登校対策はどうか。  
【答】不登校対策については、早期発見・早期対応が大切だと考える。児童・生徒と直接向き合う教職員には、鋭い観察力やカウンセリングマインドが必要であり、そのための意識改革、資質向上をねらった研修や事例研修を実施する。  
【問】不登校対策については、早期発見・早期対応が大切だと考える。児童・生徒と直接向き合う教職員には、鋭い観察力やカウンセリングマインドが必要であり、そのための意識改革、資質向上をねらった研修や事例研修を実施する。  
【答】継続的な家庭訪問を行っていたが、もう一歩踏み込んだ対応ができず、不登校対策委員会においても状況報告だけで解決策を検討するまでに至らなかった。今後は、教育委員会の指導助言体制を強化し、学校を支援しながら、より一層の連携を通して再発防止に取り組んでいく。

## ここがききたい 総括質問

## 学校と教育委員会 連携の強化を

連携の強化を

【問】虐待事件に関し、学校から教育委員会に対して、虐待の報告や長期欠席の相談はあったのか。  
【答】学校からの虐待の報告や長期欠席の相談はなく、他に多くいる長期欠席者の一人として認識していた。家庭訪問の様子などをより詳細に確認すべきだったと考えており、また、今後は

## 24時間対応 虐待相談窓口

【問】他市では、子育て支援関係機関の組織が虐待防止に大きな役割を果たしているとの聞き、今回の虐待事件に関し、「岸和田市子育て支援関係機関会議」には事件の報告が行われていない。今後、どのようにこの会議を充実させるのか。  
【答】より多くの情報の収集、連携を可能にするため、警察署・消防署・医師会・法務局などの参画を求め、構成機関を拡充し、市児童育成課に事務局を置



「子どもたちに光り輝く未来を」緊急市民集会1,200人が参加

日々、人権擁護や生命尊重をうたっているが、それは言葉だけのものか。  
【答】健康で幸せな人生を送る権利があるのに、それが侵害されたことを深刻に